

授業の技 その③ 「ノート指導」

1時間の学習の、思考過程や到達度がわかるノートづくり

子どもは、「何を」「どのように」学び、「何が」「どこまで」できるようになったのかがわかる



教師は、子どもの理解度や課題、つまずきを見取ることができる

→ 授業改善や、個別支援のヒントが見つかる!!

【小学校 算数】



《成実小学校の実践》

◆友だちが板書した考え方を書く。

◆友だちの発表を聞きながら、大切だと思ったポイントを自分なりの言葉でまとめる。



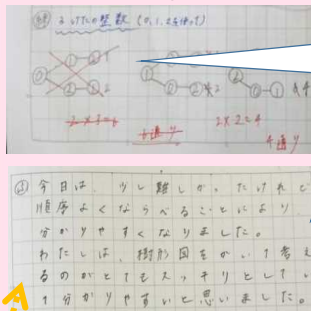
自分で何が重要なのかを見極め、ノートにまとめる力が子どもに育っています。

思考力・判断力・表現力の育成

《成実小学校の実践》

◆まちがいを消さずに赤鉛筆で×を書いて残しておく。

◆学習した解決の方法のよさや自分で気付いたこと、また、今後はどのように考えるとよいのか等を振り返りに書く。



考えた足跡を自分の言葉でノートに残しておくことで、どこでつまずいたのか、今後どこに気を付ければよいのかを、自分で何度も振り返ったり、確かめたりすることができます。

自主的、自発的な学習の促進

★子どもの主体的・協働的な学びが実現しています!!★

《日吉津小学校の実践》

どうやって考えたかなあ?

前の時間のやり方はね...



友だちとの学び合いの場面で、自らノートを振り返り、既習事項をいかして課題解決しようとしています。

進んで学習に活用する態度の育成

ノート指導の充実のために〔実践例〕

- 教師（学校）が目指すノートを具体的に子どもに示す。
 - ・年度初めや各学期の授業開きで、丁寧に説明・確認する
 - ・「ノート展」を開催し、モデルを提示する
- 学校全体や教科で、書き方をそろえる。
- 授業中に、既習の内容をノートで振り返り、解決の手がかりを得る経験を積み重ねる。 等



板書を丁寧に写した全員同じノートから、「学習のポイント+α」をまとめた、その子どもだけのノートへ!



まずはノート点検を継続して行うことを目指して、先輩の先生方にノート点検のポイントを聞いてみましょう。教科や単元（題材）の中で軽重をつけるなど、無理なく続けられるコツを教えてください。

何よりも、ノートを見ることで、**日々の子どもの成長を知る**ことができます。また、ノートに描かれた花丸や教師の一言を見た子どもは、「先生は自分のことを見てくれている」ことを実感します。それは、**次の学習への意欲**や**教師への信頼**にもつながります。